科目名	情報処理演習Ⅲ
年次	2
単位数	3
担当教員	園原
到達目標	人型ロボットのあり方やアプリのあり方の理解をめざす。
授業概要	SDK(Software Development Kit)としてのchoregrapheを中心としたアプリ開発を通じて人型ロボットのアプリ作成の概念を理解する。
授業計画	以下の内容を予定　一コマは3時間 1 Pepperの概要とSDK Coregraphe プログラムボックスと音声センサーを利用した会話方法 2 タブレットへの画像の表示、音楽再生、動画再生、タッチセンサーの活用 3 振付(身振り手振り)と会話、Timelineとレイヤーを利用したタイミング合わせ 日本語特有の表現方法(イントネーションやタイミングの調整など) 4 人らしさをの演出に用意されたプログラムボックスの利用 内部メモリイベントの利用、顔を追いかける(目を合わせる)、対人距離 5 少し複雑な会話を目指す Qichatの基本　スクリプトを利用した会話 6 タブレットとタッチパネルの利用 7 HTMLとJavaScriptの実行 8 インターネットの利用 メールやホームページの表示 9 アプリ作成に便利なプログラムボックス 10-15 前期総合演習(アプリ作成) 16 Choregraphにて起動するPython 17 簡単なプログラムボックスの改造 18 Javaスクリプトを利用したプログラム 19　APIの利用方法 20-33 後期総合演習(アプリ作成) 34 後期アプリ制作発表会
テキスト	なし(自作のプリントを配付します)
参考書	ソフトバンクアトリエ秋葉原公開資料 https://www.pepper-atelier-akihabara.jp/archives/439
評価方法	出席、課題による。
準備学習等	
備考	